

ますが、楽なときに参観していただくように申しておりますが、思うようにいかない場合がおおございます。日曜日の参観日を持つと

か、在宅時にたびたび訪問するとか、研究していきたくと思っております。

私たちのあゆみ

……ともに生みだす遊戯会……

神戸市立楠幼稚園

中谷久子

……私の園の研究・組の研究……

宵やみにジングルベルの曲が流れて、たのしいクリスマスがそこまできているとき、あるいは桃の蕾がふくらんでもうすぐ春だというとき、私たちの心は灰色のボールに包まれ職員室には重苦しい空気が流れはじめます。それは——最良のセンスを盛り、最大の効果をあげる、最善の遊戯会を持ったために希って、みんながありつたけの智慧をしばって遊戯会の構想をねり、当日までの準備にいろいろと頭を悩ますからであります。

過去数年来、幼稚園にとって、最大の行事と思われる遊戯会を、最も望ましい姿に、日常保育の発表であるという形式を打ちだすために、私たちが日々悩んでまいりましたことをお話し申しあげていろいろご指導をいただきたいと思います。まずはじめに、

① 楽しい遊戯会でありたい

……事前指導を十分にすること……

子どもたちはおかあさんに遊戯会を見てもらうのを指折り数えて待っています。しかし

母親は自分の子どもの役割のみに神経がとがるようです。そこで私たちはこの遊戯会のチャンスを利用して、子どもの本当の姿、遊戯会の正しいあり方をよく理解してもらうために平素の指導はもちろん、プリントを配布して事前指導をよくし、子どもたちも、保護者も、先生も、ともに楽しい気持で遊戯会ができるように努力しています。

② あそびから出発したものでありたい

……無理があつてはいけないこと……

遊戯会だといって保育者があせれば子どもにひずみが行くのはあたりまえ、無理のないありのままの姿、それは日常のあそびをおいて他にないと思います。私たちは遊戯会だからといって特別なものを詰めこむのではなくあそびの一展開として考えていきたいとねがっています。たとえば保育室での「角力ごっこ」が発展して「楠幼稚園春場所」に、「歌ごっこ」を「声くらべ」というように、どこまでもあそびからの自然発生的なものを取りあげております。

③ それぞれの個性に応じた役割でありたい

……全園児一体の合同出演の形式に……

新任一年目の先生は、十年の古参の先生に比べて、子どもに対する愛情や新しい感覚において優るとも劣ってはいないが、それぞれの子どもを生かすというテクニクにおいては、古参の先生の経験には及ぶべくもありません。ここに必然的に生じる先生自身の劣等感、不安定や、各組保護者の対立やあつれき、そのような不明朗なものをさげ、子どもたちも全園あげて楽しくあそびが展開されるように、組を解体して合同の出演形式をとっています。

平素から組間の意識は解放的でお互いによく話し合っています。この組解体の遊戯会によって、より一層解放され、それぞれの立場において、先生も子どもも最大限に実力を発揮することができるのだと信じてやっております。

④ プログラムができるまで

……ねらいをはっきりして……

遊戯会が毎日の保育の発表である以上は、ただ、ロボットを操るように上手にできましてはすまざれないのであって、この遊戯会を通じて何を育てようとしているのか、どんなところで、どんな面が育つかという目的をはっきりとつかんでいることが大切であります。

子どもの夢が素直にくりひろげられ、創作的表現態度や、集中力がより助成され、多くの友だちと仲良く協力していく態度の養われることを思うとき、子どものレイニネスにあった遊戯会プログラムであることが望ましいと考えます。

このプログラムを作成するために私たちは日頃の保育の様子や悩みを、お互いに持ち寄って話し合います。この話し合いが二日も、三日も夜おそくまで、また通勤の途上、あらゆるときと、あらゆる場所が遊戯会を生み出す議論の場とかわり、その話し合いが全体的にまとめられてプログラムが生みだされるのであります。この生みの苦しみこそ、最善を

思う遊戯会への原動力になるのであります。

⑤ オーバーワークにならないこと

……計画性のあること……

子どもの心をびったりとつかんだプログラムができ、全園一体となって稽古をするとき子どもの心にも身体にも無理のいかなない日々であってほしいと考えています。

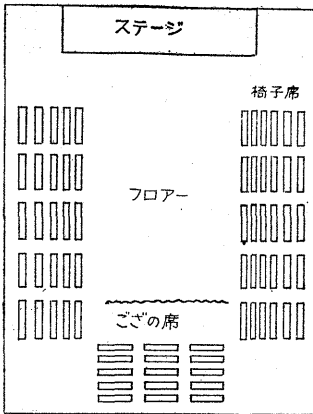
そこで私たちは、二人の先生が一组になって各パートを分担して指導するようにしています。遊戯会の前日に子どもが熱を出したとか先生が倒れたというようなことになっては望ましい遊戯会とはいえないのであります。あくまでも、教育の場で無理のない遊戯会をするためには、無駄のない企画と運営ということを考慮しなければなりません。

⑥ 見てわかってもらえるものでありたい

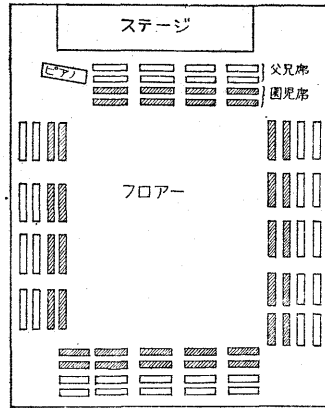
……立体的表現への工夫……

私どもの園のように四二〇名からの子どもを一人一人十分見ていただくと思えば、せいまいステージだけの表現活動では不十分なのであります。

本年の観覧席



一昨年の観覧席



そこで私たちは全園児を二日にわけて遊戯会をすることになっています。

また一昨年までは、のびのびと表現活動ができ、かつ子どもいっしょに楽しむようにと、ステージを使わず、フロア・オンリーの遊戯会とし観覧席は周囲に、前列を園児席、

その後には保護者席として設け、園児はその場から出演し観覧するという方法をとっていました。しかしいくら二日にわけましても、五八坪の部屋に二〇〇人の園児席を十分設けることは無理であり、立錫の餘地もないありさまで、十分見ていただけない保護者もあり、大変気の毒でありました。

この反省をもとにして昨年度は保護者の方に心ゆくまでゆっくりと見ていただくという意味と、よりよく見ていただくためにフロアにステージも利用する立体的表現に力をつけてまいりました。

また三月ともなれば園児の成長も著しく、保護者とともに楽しむ遊戯会から、一年間の幼稚園生活で身についた態度と表現能力を十

分に發揮して見ていただく遊戯会へと発展して、園児は観覧せずに別室控室から出演するというたてまえにいたしました。

また衣装や環境構成なども一昨年までは、子どもたちの手で作ったものを生かして使っていました。その創意は十分に汲みとれても美的だといえず、その雰囲気には合わないものもあり、何となく物足りなさを覚えたのであります。やはり情操教育という面から、より美しいものでありたい、みている人にもわかってもらえるものでありたいという願いから今年の扮装は子どもが作ったものと、先生や保護者の手で作ったものを使い、かつその雰囲気よりもよきものがあるために高尚な、レコード、テープコーダーなどを使って音楽効果も十分に生かし、子どもたちの活動がより豊かにできるように工夫しました。

⑦ 来会者一同も楽しめる遊戯会に

……みんな童心にたちかえって……
子どもは自らの表現活動を満足するためにその日を待ち、親たちは、いたいけなわが子

の成長ぶりを目のあたりにみるたのしみでいっぱいその日を、本当に楽しい有意義な一日にするために、私どもは多くの来会者自然而然に遊びの中に誘導します。子どもたちの演じる遊びに朗らかな笑いはたえず、プログラムの進行につれて子どもたちの活動にあわせて、一同のハミングが流れ、歌声が聞え、器楽演奏をしてもらうように運びます。最初はなかなか開かなかった口も次第にはころび、不安そうに打っていた太鼓の音も次第に重量感に加わり、全員渾然一体の境地にさそいこまれるのであります。

⑧ 間のびがしない演出のために

……組織の緊密……

一四〇〇人の子どもと保護者を一時間半、あくことなく楽しませるためには、各パートの演出責任者はいうに及ばず、全職員がそれぞれの場所に、叡知を働かせ、行動的であり、常に全体的配慮がなされていることが大切であります。すなわち先生の和こそすばらしい演出効果をあげるかなめになるものと考えて

います。

⑨ 常に前進するものでありたい

……けんきよな反省の態度を……

ときは休みなく流れ、社会とともに伸びる子どもたち。

私たちの保育の中にも日々あらたなるものがあると思います。

私たちは常にかわらないものに立脚して、

創るよろこび

静岡精華幼稚園

手塚せつ子

……私の園の研究・組の研究……

日々前進するために、たゆまぬ努力をするところ、課せられた任務でないかと思っております。

遊戯会のあと、私たち同志の反省会をもつていろいろ話し合うと同時に、父兄からは遊戯会についての感想をきいて反省の資料としてけんきよな態度で来るべき日に備え参考としております。

精いっぱい活動できるようにと願いつつ保育計画をたて新しい気分で子どもたちを迎える、昭和三十年精華学園の一隅に開園したこの幼稚園の附近は静かな住宅地、表通りに出れば一通り商店が軒を並べ、自動車、電車の便

もよい。家庭状況は商業、会社員、公務員、教員で生活は中流というところ、私の受け持った組は男児が二十二名、女児十六名の二年保育年少組。四月十六日はじめて色紙を与えごく簡単な折り紙をこころみたところ、表の